

平成22年度予算編成についての基本的な考え方

本年度は、『御所市財政健全化計画』の実質的な初年度にあたることから、この計画に従い、徹底して歳入歳出の見直しを行い、予算編成を行っています。歳入では、市税及び公営住宅使用料等の徴収強化、普通財産の売り払い等、歳出では、職員給料のカット・職員数の削減を行い総人件費の抑制、団体運営補助金やイベント等委託料については、原則として昨年度より5年間凍結しています。また、公債費については、後年度の利子負担を軽減するために県の無利子貸付の活用を予定しています。平成22年度予算は、新規事業及び投資的
事業については、計画に盛り込んでいない事業の予算計上を控え、必要最低限の経費で編成した緊縮型の予算となっております。しかしながら、市民の皆様が安心して暮らすことができるよう医療・介護・福祉関係経費、新たな雇用の拡大と将来の歳入増加を図るための企業の誘致施策並びに観光戦略等については、積極的に当初予算に盛り込むことといたしました。